



(画像は警視庁万世橋署公式サイトより引用。)

法科学鑑定研究所

秋葉原通り魔事件-検証 <http://www.e-kantei.org/ziko/newscolumn5.htm>

「群集が急に、津波が来たかのように走り出した」。白昼の秋葉原で起きた通り魔事件。職業不詳の加藤智大容疑者（25）は大声で叫びながらトラックから降り、次々に通行人に襲いかかった。目の前で繰り広げられた惨劇。目撃者の証言から犯行の一部始終を再現した。

「ドーン」。加藤容疑者は8日午後0時35分ごろ、レンタカーのトラックで神田明神下交差点方面から、神田3丁目交差点に入ってきた。通行人を次々とはねた後でタクシーに衝突し、周囲には轟音（ごうおん）が響いた。

現場近くで買い物をしていた千葉県のフリーターの女性（17）は「トラックはそれほどスピードが出ていなかったが、ジグザグに走ってきて通行人ははね、そのたびに小さな爆発音のような音が響いた」と話す。

トラックがはねたのは5、6人とみられ、交差点には血を流した人が何人もうずくまっていた。現場近くの電器店の30歳代の男性店員は「あおむけに倒れたまま、上半身から血を流して両手を天に向かってあげて、『うー』とうめきながら助けを求めようなくさをしていた中年男性もいた」。周辺は血の海となった。

停止したトラックの運転席から降りた加藤容疑者は、買い物客や観光客らでごった返す歩行者天国に向かった。

ベージュ色のジャケット姿の加藤容疑者。周辺の数人と何やら言葉を交わしたようにも見えたが、突然、はねられて路上に倒れ込んでいた1人の男性に馬乗りになり、体を持っていたサバイバルナイフで何度も刺しはじめた。男性はピクリとも動かなくなった。

倒れていた男性を保護しようとする制服警察官。加藤容疑者はこの警察官に向かって話しかけるように近づくと、さっと脇腹を刺した。平然とした様子だったという。右の脇腹を押さえ、路上に崩れ落ちる警察官。加藤容疑者は「ワー」と叫び声を上げながら、ナイフを持って走り出した。

前出の男性店員は「警察官には背後から抱きつくような感じで、映画か、ドラマの残酷なシーンをみたようだった。倒れていた中年男性の顔が忘れられない」と恐怖の表情を浮かべた。

そして加藤容疑者は、「飛行機のように手を広げて、蛇行しながら走って行った」（自営業の男性）という。

観光地として年々知名度を上がっている秋葉原、中心部の歩行者天国を散策していた買い物客らは、当初はやじ馬的に悠然と構えていた感もあったが、この時点でただならぬ事態に気づいた周辺にいた人々が、悲鳴とともに逃げ出した。

「右手に刃物を持ち、口を大きく開けて恐ろしい形相だった。『殺される』と思って何も考えられなくなり、駅へ向けて走って逃げた。何か叫んでいたようだが、よくわからない」（前出のフリーター女性）。つられる形で、何が起きたか把握していない人たちも一斉に走り出す。

近くの電器店従業員は「数百人が一斉に動いた。津波が来たかのように、急にみんなが走り出し、パニック状態になった」。近くの喫茶店の男性従業員（５８）は「全速力で転びながら走って店の中に逃げ込んだ。鳥肌がたった」と振り返った。

加藤容疑者は警察官に追いかけられながら、交差点の真ん中当たりで、出会い頭に女性の腹を刺した。中央通り沿いを走りながら、さらに別の男性を刺して逃げる。手には黒っぽいナイフを持ち、振り回していた。

秋葉原にＣＤを買いに来ていた会社員の男性（３５）は「あっという間に加藤容疑者が警察官らを刺したのを見て、一瞬呆然とした。女性は腹が真っ赤に染まっていた。男性はあおむけに倒れていた。はっと気付いて『やばい！』と思った。パニック状態の中、人の波に流されるように全速力で上野方面に走って逃げた」。

警察官から警棒で一撃されたとみられる加藤容疑者は、逃げるようにして、中央通り沿いにある電気店の間の路地へ、警察官が「待て、待て」と言いながら後を追った。

足立区の看護師、魚谷直輝さん（３５）は、「救急隊到着し、『ＡＥＤが足りない！』という声が出たため、秋葉原駅にＡＥＤを取りに行った。近くにいた人々は『自分も刺されるのでは』という恐怖感があり、ばらばらに走り去っていた」と語った。

路地では、「警棒を持った制服警察官と向かいあい、少し距離を置きながら、チャンバラのような感じでもみ合いながらにらみあっていた」（免税店の男性店主）。加藤容疑者は興奮状態で、ナイフを頭上に掲げて威嚇。額からは血を流し、服は返り血を浴びて真っ赤になっていたが、服装などに目立った特徴はなく、「普通の男性のようには見えなかった」（同）という。

男性店主によると、数分間の緊張したやり取りの後、警察官が「ナイフを捨てないと撃つ」とする言葉を告げ、拳銃をゆっくりと構えた。加藤容疑者は観念したのか、まもなくこの警察官と、私服姿の数人に組み伏せられ、現行犯逮捕された。

埼玉県朝霞市の男性（３５）によると、「その脇にも男女２人が刺されて倒れていた」という。近所で働く男性会社員（４４）は「ぞっとする。もう少し遅かったら自分も巻き込まれていたかも」と振り返った。

付近で通行人に地図を配っていた観光案内業の男性（２７）は「４月末に自称アイドルが（路上で開脚して都迷惑防止条例違反で）逮捕された一件以降、パフォーマーも減りやっと平穏を取り戻してきていた。歩行者天国はなくなってほしくはないが、廃止されてしまうかもしれない」と悔しがった。

ソース：<http://sankei.jp.msn.com/affairs/crime/080608/crm0806081951028-n3.htm>

ソースのキャッシュ：

<http://s01.megalodon.jp/2008-0608-2219-04/sankei.jp.msn.com/affairs/crime/080608/crm0806081951028-n1.htm>

<http://s01.megalodon.jp/2008-0608-2220-14/sankei.jp.msn.com/affairs/crime/080608/crm0806081951028-n2.htm>

<http://s02.megalodon.jp/2008-0608-2221-05/sankei.jp.msn.com/affairs/crime/080608/crm0806081951028-n3.htm>